



年に約30回しか使われない議場

年間30日しか使わない 専用議場はいらない



渡辺大三 (みどり・市民)
 市議会の議場は、年間約30日しか使われない。つまり年間30日以上使われていない。新庁舎建設において、議会専用の議場のような造り方をし、まして他の用途では使えない。行政利用や市民利用もできるような大会議室として整備すべきではないか。なお、

あまり大きなスペースだと使にくいので、パーティションなどで仕切って分割して使用できるようにすべきである(三鷹産業プラザの7階がそういう仕組みになっている)。
市長 私も渡辺議員の考えに近いものがある。議場に関しては議員の方々のご意見を尊重していく。

② 新庁舎建設に関して、建設場所の決定は、多くの市民の皆さんの意思を客観的に把握できる「住民投票」で決定すべきではないか。
市長 現時点では市民検討委員会の推移を見守っていく。

③ このほか、武蔵小金井駅北口の西友北側のマンション建設問題について、低層階から居室が建設されることにより、商業が分断される問題を取り上げ、今後、商業の連続性を確保する条例制定を検討するよう求めました。



紀 由紀子 (公明党)
 20代30代の若い女性に増えてきている子宮頸がんは、ワクチン接種と検診で唯一、予防ができるがんである。東京都が公費助成を行うならば2分の1を負担する制度ができてくる。公費助成の自治体が増えてきているなか、命を守る

ため今こそ英断し公費助成を行うべきである。(ア)既に公費助成を行っている自治体は。(イ)子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を行うべき。
福祉保健部長 (ア)26市では3市が6月議会で補正予算を出すという。
市長 (イ)公費負担という方向性の流れができてきていると思

① 児童が勉学に励むことができる学校環境の追求は非常に重要で、特に現状ではトイレの改善が必要。また、中長期的にはリフォームが必要と考えるが市の中期計画は。学校教育部長 トイレ改修事業は市の中期財政計画に組み入れ計画している。現段階

で1年度当たり4千万円ほどを計上し、5校の小中学校を対象に1校当たり4か所の改修を考えている。今回の補正予算では国の緊急雇用事業を活用して約1千500万円を計上し、小中学校のトイレの特別清掃を実施するため学校トイレ環境の改善に期待している。

② 武蔵小金井駅北口再生協
 議会が指摘するマンション開発について、社会的な義務として地域や地元を考えた建設計画を市からも強く要望していただきたいが、ムサコ北口のまちづくりには及ばず影響は。都市整備部長 まちづくりの具体的検証は今年度から本格的に進めるが、北口開発に対する影響は大きいと考える。他に「清里山荘シャトルバスPRの課題」、「図書館サービスの新年度からの改善点と今後の展開」、「子ども手当支給業務について」を質問。

学校トイレ環境の改善とムサコ北口開発



中山克己 (自由民主党)
 児童が勉学に励むことができる学校環境の追求は非常に重要で、特に現状ではトイレの改善が必要。また、中長期的にはリフォームが必要と考えるが市の中期計画は。学校教育部長 トイレ改修事業は市の中期財政計画に組み入れ計画している。現段階

東小金井駅周辺整備とココバス改善について
 森戸洋子 (日本共産党)
 東町循環のココバスについて市民から改善要望が出されているが、(ア)アンケートを実施する予算の内容について聞く。(イ)中町循環と東町循環を統合したらどうか。(ウ)東町循環は東町一、五丁目に運行できるようにミニバスを走らせたらどうか。(エ)東町循環の運

行ルートは、危険な区域もあるので東大通りから自転車置き場の北側の高架下側道を抜けるルートに変更したらどうか。(オ)高架化工事の完成に伴い、東小金井駅南口駅前の暫定広場の整備の進捗状況はどうか。
交通対策課長 (ア)2千名を対象にアンケート調査を実施する。利用状況や運行ルート

に対する意見を聞く。(イ)1つの選択肢として考えたい。(ウ)費用対効果との関係でも今のところ考えていない。
都市整備部長 (エ)現在JRと交渉しており、バスルートの変更も検討していきたい。(オ)現状は、3分の2以上がJRの敷地であり、市として歩道空間の整備を検討中。またJRとは、高架下の南北8m道路の取付けを協議している。
 ■この他に国の地域主権改革問題、小金井市財政計画について質問しました。

武蔵小金井駅周辺まちづくりを民主的に



関根優司 (日本共産党)
 昨年度末に北口再生協議会から提出されたまちづくりの「提言書」は、今年度市民や議会の声も聞いて検討せよ。
都市整備部長 北口再生協議会からは、提言書はオープンにしてよいと伺っている。この検証は要所で再生協議会の了承を得てお出ししよう



駅周辺商店街の再生は市民生活にも必要事

と意思はあるのか。(イ)22年度中に実施となると補正予算が必要となる。陳情に賛成した議員3人以上が態度変更しなければ補正予算は成立しない。見通しがあるのか。(ウ)補正予算が通らなくても提案のポーズをとり続けなくてはならない理由があるのか。
市長 (ア)現時点において平

成22年度実施は変わっていない。(イ)予算が通るかどうかは非常に重要だが、まずご理解いただく努力をする。(ウ)このグループにリップサービスしていることは一切ない。
② かつてユニバーサルデザイン条例の策定を提案し、当時の担当部長は前向きな答弁であった。その後の取組は。
企画政策課長 各個別計画や第4次基本構想策定の中でその理念を取り入れている。
 ■その他に「新ごみ処理施設」について質問しました。

再開発課長 都市再開発法や関連法令に従い進めていく。
③ (ア)障がい児の就学判定の最終決定が、学童の申込みの締切りの後であるのはおかしい。改善を。(イ)学童の定員も柔軟な対応を。
学校教育部長 (ア)前の方の日程の支援委員会にかけなければならぬお子さんは、できる限り前の方の支援委員会にかけるようにしている。
子ども家庭部長 (イ)障がい児の学童の定員は課題と認識している。

小金井市の学童保育を守るべき



齋藤康夫 (市民会議)
 本年3月定例会で平成22年度中に学童保育の民間委託をすることに反対の陳情書を採択して、市議会の意思は決定した。しかし、その後、市長から成案として提出された第3次行革大綱は平成22年度中の見直しとなっている。(ア)議会意思に反した提案を変更



新築されたまえはら学童保育所

う。前向きに検討する。
 ■その他に②脳卒中(東京都では、都民の死亡原因の第3位)の対策はどうか。(ア)脳卒中の現状はどうか。(イ)早期発見、早期治療と再発防止の取組。(ウ)ポスターとリーフレットを活用し啓発を行わないか。
③ 環境に配慮した自転車の活用のまちづくりを推進しないか。(ア)富山市のような自転車シェアを行わないか。(イ)自転車道の整備を進めないか。
④ 小金井市の食育を推進せよとの質問を行った。